

# 5. 中心市街地の再開発事業等

福井銀行本店建替事業

福井織協ビル建替事業



2024年春の北陸新幹線福井駅開業を控え、福井駅西口では民間ビルの建替え工事だけでなく、複数の市街地再開発事業が進められている。



福井駅前南通り地区  
市街地再開発事業

# 5-1. 再開発で整備される新たな空間

**【凡例】**

- 再開発等施行区域（計画含む）
- 広場・空地



【広場のイメージ例】



【セットバックによる歩行空間創出の例】



＜ソライロテラス＞

…アップロード、ガレリア元町などイベント利用できるエリア



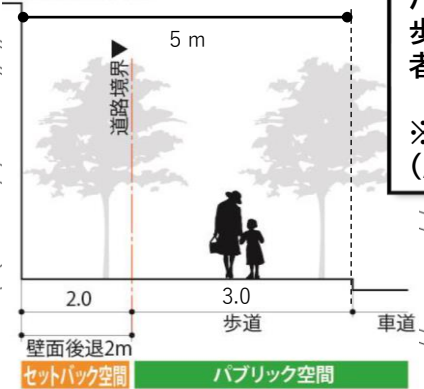
＜新栄テラス＞



＜北の庄城址公園＞

建物側(民地側)のセットバックにより、歩道と一体となった『歩行者空間』が創出されます。

※幅員数字は三角地帯(A街区)の例



# 6. 地域拠点施設と共存する「環境づくり」

地域拠点施設だけでは「点」に過ぎず、面的な環境整備が整う(人があつまる、人が住むなど)ことで、拠点施設がより明確な役割を発揮できる

2015年のリノベーションスクールをきっかけに、中心市街地の遊休施設を使ったリノベーションによる物件も集中。リノベ物件を通して新たなコミュニティが集う環境ができている。



特に「新栄商店街」では個性的な店舗が集中して開店

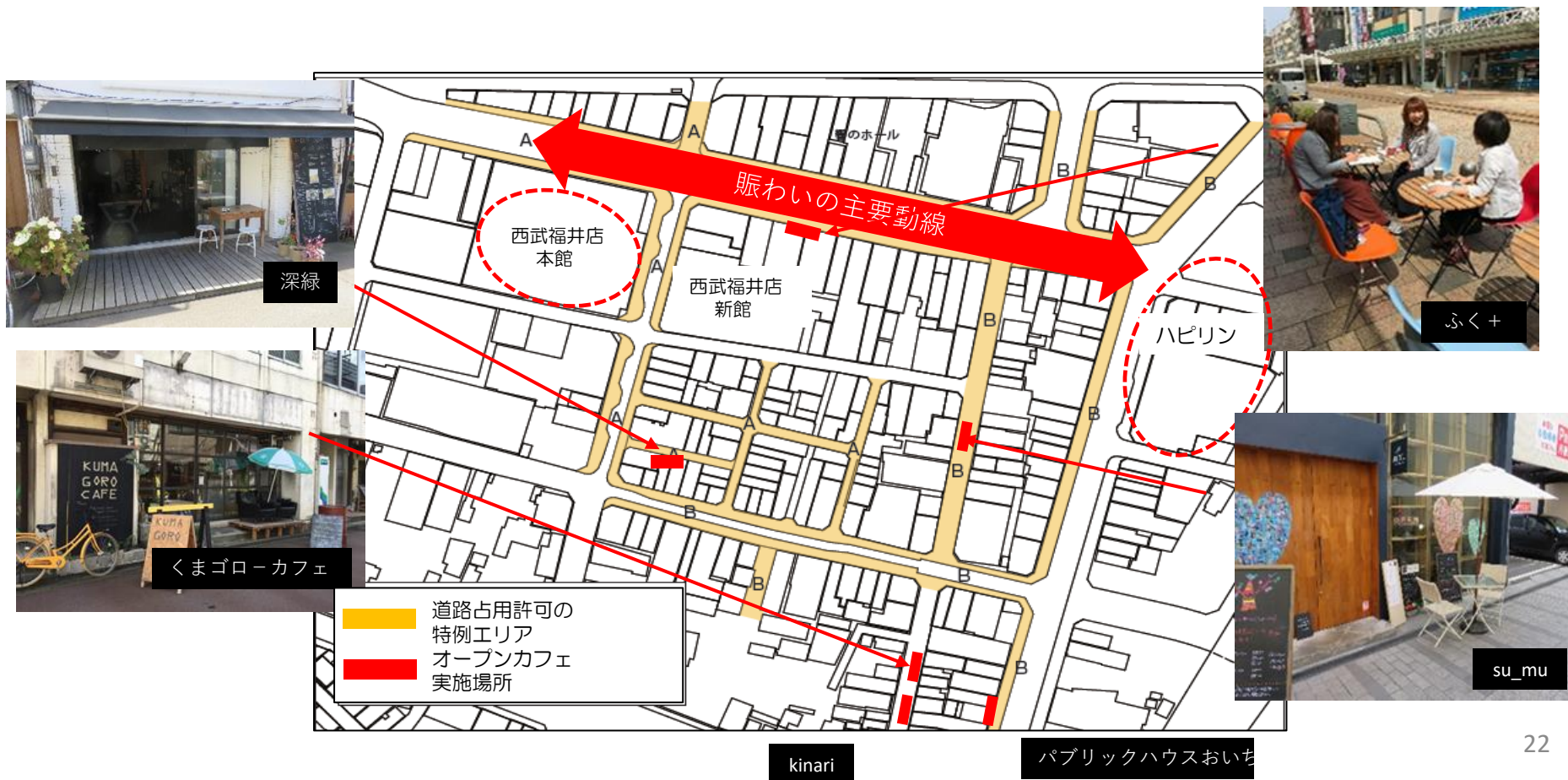


- 県産素材を使ったメンズボクサーパンツ、
- 廃材アートのmagoギャラリー ● 立飲み ● 猫カフェ
- アイルランド人による週末営業のアイリッシュバー
- クラフトビール ● 自衛隊OBによる自衛隊グッズ
- めだかギャラリー ● セルフポートレートスタジオ

# 6-1. 公共空間の活用 「道路①」

## (1) 都市再生推進法人制度の活用「オープンカフェ事業」

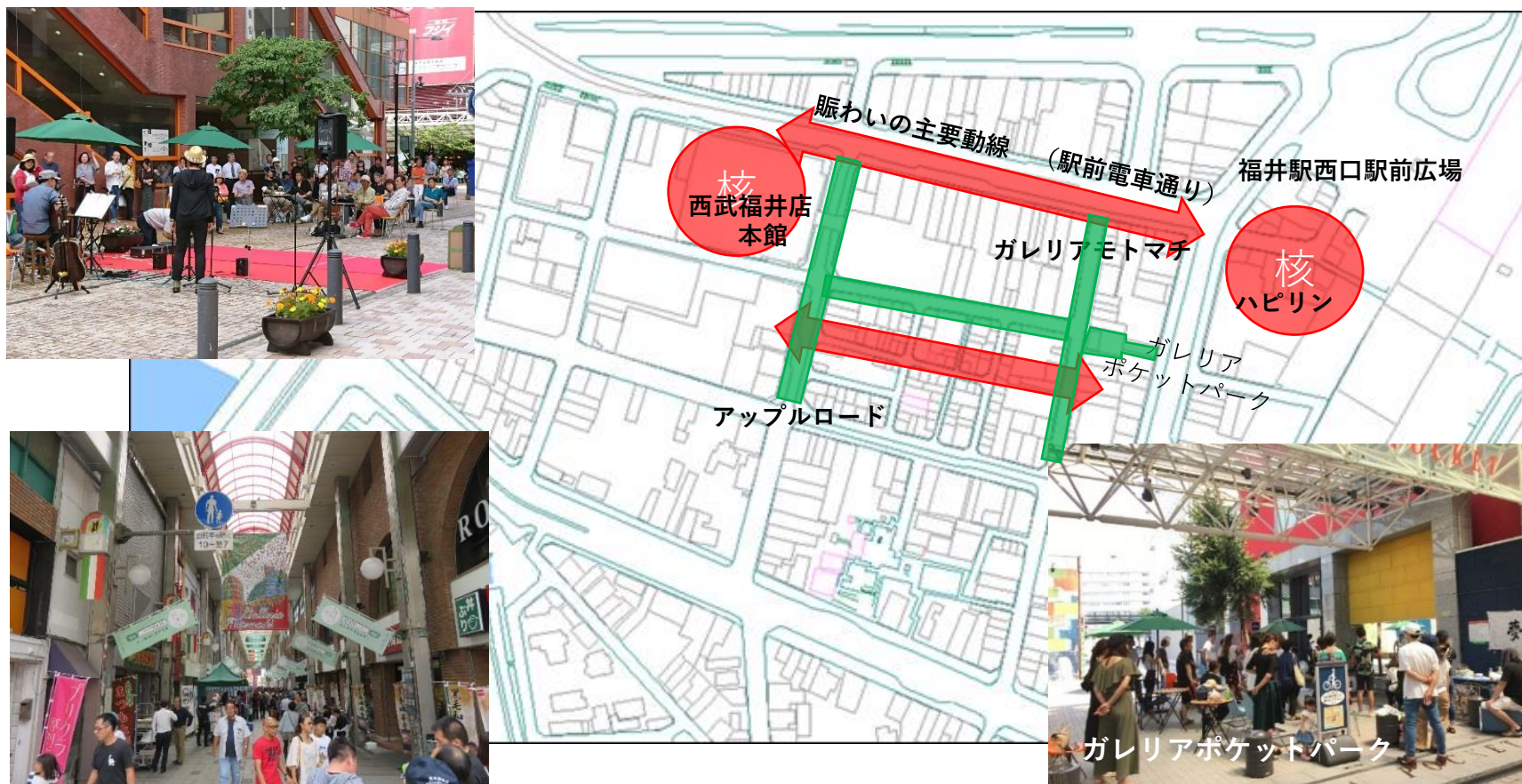
都市再生推進法人の指定（平成25年4月）を受け、「道路占用許可の特例」を活用し、賑わいの主要動線を広げる手段の一つとして周辺の飲食店の協力を得ながらオープンカフェを実施



## 6-2. 公共空間の活用 「道路②」

### (2) 都市利便増進協定の締結 「ソライロテラス」

賑わいの主要動線に接する市道アップロードとガレリア元町、都市公園ガレリア ポケットについて、福井市「都市利便増進協定」を結び(平成30年4月)、休憩施設やパラソルを設置し、貸出用イベント備品等を準備。



# 6-3. 公共空間の活用 「道路③」

## (3) 歩行者利便増進道路制度の活用 「ふくみち」

「みち」から「まち」を変えていく を合言葉に、歩道上でキッチンカーによる弁当販売や夕方からはバルタイムを実施するなど、通過するだけのみちからたたずみ、憩えるみちに変える社会実験を実施。

